



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会
 〒621-8585
 京都府亀岡市篠町篠野田 1-1
 TEL 0771-25-7313
 FAX 0771-25-7312
<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/>

病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

CONTENTS

ごあいさつ	1
新型CTの導入について	2・3
糖尿病教室便り	4
トピックス	5
看護週間イベント開催報告 新人看護師紹介 当院における情報化の推進について	
読者より	6
乳がん検診について	6
病院職員紹介	6
地域連携医のご紹介	7
ヨネハラ消化器科内科医院 山川医院	
編集後記	8
広報誌読者からのご意見等募集案内	
アクセスマップ	8

ごあいさつ

草木は若芽を吹き出し花いろいろに咲き匂う候、大好きな花の前では立ち去り難いよい季節となりました。

まず、何よりも本当に痛ましい交通事故が連続して発生いたしました。亡くなられました方のご冥福をお祈りいたしますとともにご遺族の皆様に心からお悔やみを申し上げます。また、ケガをされました方々の一日も早いご回復をお祈り申し上げます。病院職員一同、皆様の安寧を心から深く祈願しております。

亀岡市は、「交通死亡事故多発非常事態宣言」を発令し、緊急メッセージを市民の皆さまに発信しています。平常においてのルール遵守の徹底・安全意識を高めることの自覚が何より大切と存じます。こうしたことはすべての行動規範につながることです。

常に「いのち」の尊さに向き合っております病院は、安全・安心に細心の注意を持って当っております。自然災害やこうした事案からも種々の気づきを得て、その一つ一つを真摯により良い取り組みとし、市民のみなさまの信託にお応えしたいと思っております。

桔梗も発行を重ねてVol.9号となりました。院内の医療内容、診療情報や連携の市内医療機関ご紹介記事等、皆様のお役にいささかなりとも役割を果たしているものと思っております。病院職員は、自治体病院として市民のための病院としてその務めを果たすため頑張っておりますが、この4月には、一般内科外来の休診で大変なご迷惑をお掛けいたしました。お陰様で5月からは大きな支援をいただき、再開が叶いました。今後とも安定な取り組みに心してまいりたく思っておりますので、何卒のご寛容とご協力をお願い申し上げます。今年度も、より確かな診療に患者サービスの向上に医療機器の更新や電子カルテ導入なども行い精進してまいります。



亀岡市病院事業管理者 坂井 茂子

新型CTの導入について

最新のCT装置を導入いたしました

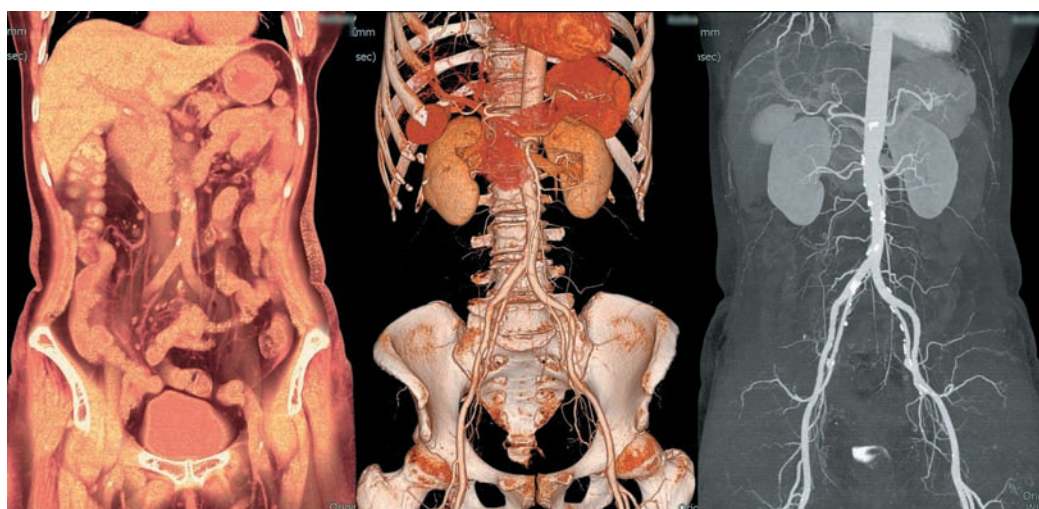
開院以来約8年間使ってきましたCTを、今年の4月より京都府内で第1号機となる最新の東芝製 Aquilion PRIMEという機種に更新いたしました。



以前のCTと何が変わったかといいますと、最大の違いは検出器の数にあります。

検出器と言ってもピンと来ないと思いますが、CTはX線を出す管球と、そのX線が身体を透過して出てきたX線量を測る、列をなした検出器から構成されています。

この二つが身体の周りを360度回転しながらデータを収集し、X線の吸収差をコンピューターによって計算させ、目に見える形としてCT画像を作っています。



腹部の立体画像

CTが普及し始めた当時は、検出器はX線管球に対して1列しかついていませんでしたので、管球が1回転した時に得られる画像は1枚だけでした。

私が放射線技師になった27年前では、1枚の画像を撮影するのに約20秒かかっていました。

それから約15年後に、検出器が2列搭載されたCTが出始め、1回転で同時に2枚の画像を得ることが出来るようになり検査時間も短縮されました。

この病院が開設された8年前に導入されたのが、もう少し進化した4列の検出器を搭載されたものでした。

それでも撮影時間が短縮されたとはいえ、胸全体の検査を行うのに約20秒間の息止めが必要でした。

今回導入した機器は、今までより20倍多い80列の検出器を備えています。

胸全体の撮影時間は、約2秒間の息止めですべて終わってしまいます。

お腹全体でも約3秒、全身ですと約11秒ほどで撮影が終了してしまいます。

しかし、単に早く撮れるだけではなく、今までですと0.5mmの厚みの画像で細かく撮影をしようとす

ると、一度に4cm程度でしか撮影出来ませんでした。新しい機械では頭から足くらいまで一度に撮影できます。

画像表示もコンピューターの進化により、以前は1枚の画像が作られるのに2秒ほどかかっていましたが、新しい機械では1秒間に約60枚と超高速で画像が作成されますので、撮影してから結果が出るまでの待ち時間が大幅に短縮されています。



手の骨折

またX線被ばくも、撮影時間が短くなったのと、技術の進歩によって、従来より最大で75%低減が出来るのも大きな特徴の一つです。

ワークステーション導入について

今回CTと同時に、新たにワークステーション(富士フィルムメディカルVINCENT)も導入いたしました。

ワークステーションとは、撮影を行ったCT画像を元に、色々な角度から体内を観察したり、立体画像を作りだすことができる装置です。

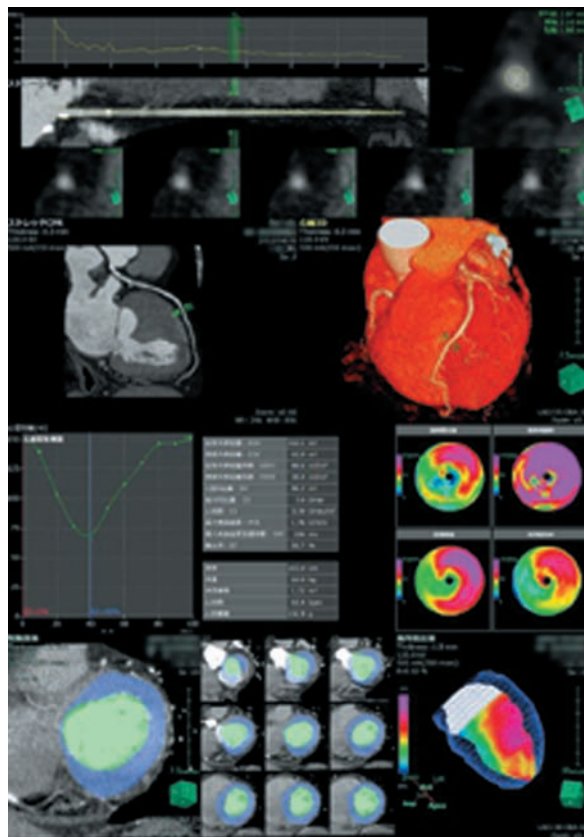
心臓検査では、心臓を取り巻いている血管(冠状動脈)を心電図と同期させ、動きの少ないところのみ取り出してきて、血管の立体表示を行ったり、心臓の壁の動きを動画で観察することもできます。

以前ですと心臓の検査といえば、カテーテルと言う細い管を直接冠状動脈にまでもって行き、そこから造影剤を流して検査を行っていましたが、今後はCTで代用できる患者様も増えてくると思われます。入院も必要なく1時間程度で検査も終わりますので、患者様の負担も軽減されます。

他にも、手術前のシュミレーションや肝臓のポリウム計算、骨折の評価、腎臓結石の組織性状など、多くの診療科で使うことが出来ます。

撮影した結果は、専門の放射線科医師が読影を行いレポートを記載しています。

是非、地域の先生方にも今後活用していただきたいと思っています。



冠状動脈及び心機能解析

最後に、私たち放射線科では、患者様に安心して検査を受けていただき、多くの情報を先生方に提供出来るよう、今後も努力して参りますので宜しくお願いいたします。

(放射線技術科長 八木 教之)

糖尿病教室からお知らせ

糖尿病検査のヘモグロビンA1cの正常基準値が2012年4月1日から変更されました。

これまで使用されていたヘモグロビンA1c(日本糖尿病学会:JDS)の値は国際基準値(NGSP)へと変更となります。これに伴ってこれまでのヘモグロビンA1cの値に約0.4(%)を加えた値が国際基準値となります。なお、来年4月までは新しい値とこれまでの値の両方を検査結果に表記していますのでご注意ください。

詳細は外来担当医にご確認頂くか下記のホームページをご参照下さい。

○糖尿病ネットワークHP(<http://www.dm-net.co.jp/calendar/2012/016773.php>)

○(社)日本糖尿病協会HP(http://www.nittokyo.or.jp/kinkyu_jj120217p.html)

平成24年度の糖尿病教室(前期日程)を 下記のとおり開催します

参加費:無料

場 所:当院2階のウェルネスホール

時 間:13時から14時

参加資格:糖尿病に興味がある方ならどなたでも参加していただけます。

あいにく下記日程は一部終了してしまいましたが、秋以降にも後期日程を予定していますので質問や知りたい情報などありましたら糖尿病教室にお越しください。

なお、資料準備の都合上、内科外来で事前に申し込みをお願いしていますが、当日参加も可能です。皆様のご参加をお待ちしております。

日 程	講義内容	講 師
4月10日(火曜) 4月13日(金曜)	糖尿病のはなし	松尾医師(内科部長)
5月11日(金曜) 5月15日(火曜)	糖尿病と検査のはなし	原臨床検査技師(糖尿病療養指導士)
6月5日(火曜) 6月8日(金曜)	糖尿病と薬のはなし	吉見薬剤師(糖尿病療養指導士)
7月10日(火曜) 7月13日(金曜)	糖尿病と運動のはなし	辻医師(運動器疾患センター長)
8月7日(火曜) 8月10日(金曜)	糖尿病と栄養のはなし	森管理栄養士(糖尿病療養指導士)
9月4日(火曜) 9月7日(金曜)	糖尿病の合併症のはなし	谷村看護師(糖尿病療養指導士取得見込み)

臨床検査科 主任臨床検査技師 原 健介(糖尿病療養指導士)

トピックス

看護週間イベント開催報告

「看護の日」イベント紹介

「看護の心をみんなの心に」のテーマで行われる全国看護週間に合わせて、昨年に引き続き、看護週間を記念するイベントを5月12日の看護の日に行いました。当院の今年のテーマは「家庭でできる簡単手当て」です。天池副院長の「簡単手当て」の講演と相談コーナー、骨密度測定や筋肉量測定コーナー、栄養相談コーナー、手洗いコーナー、家庭でできる

フットケアなどのコーナーを設け、多くの方に参加していただきました。

「看護の日」記念の絵画募集に応



じてくださったちびっこの作品に癒され、自分の健康に関心を持たれた1日でしたと感想が寄せられていました。これからも毎年、取り組んでまいりますので多くの市民の方にご利用していただきたいと思っております。



新人看護師の紹介

今年は、4名の新人看護師が入職しました。新卒でライセンス取りたての看護師もいれば、ベテランの看護師もいます。亀岡市立病院の看護師になりたくて半年以上非常勤看護師でがんばってくれた看護師もいます。亀岡市立病院職員として他部署の職員と協働し、安全で安らぎのある療養環境の提供と研修等を積極的に受け、自己研鑽を積みながら、一人ひとりの持

ち味を生かした質の高い看護実践を目指してまいりますのでよろしくお願いいたします。



当院における情報化の推進について

当院における『電子カルテ』は、より安全な医療の提供、地域連携の促進、患者サービスの向上などを目的とし、本年12月に稼働を予定しております。

『電子カルテ』にはいくつかのメリットがありますが、患者様の全ての診療情報を一括管理することにより、必要な情報を瞬時に取り出すことが可能となります。例えば、診察時に過去の検査結果や放射線などの画像を比較することで、診断結果をより分かりやすくお伝えすることができます。また、現在の紙カルテに比べ、受付から診察、各種検査、会計までの流れがスムーズとなり待ち時間の短縮にもつながります。

一方、デメリットとしては停電やシステムダウン時に使用できなくなるなどの危険性があります。

現在、当院では『電子カルテ』の稼働に向け、院内で導入に向けて必要な委員会・ワーキンググループを発足し、

導入推進体制の整備を行い運用方法など様々な課題を患者様の視点に立って検討を重ねております。今後も職員一丸となって『電子カルテ』の構築をすすめてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



読者の方からのたより

今回、読者の方から初めて写真の投稿がありましたので、ご紹介させていただきます。

この写真に写っている花の名前は「シロツメクサ」、花言葉は「約束」ということです。皆さんも子どもの頃、夢中になって、このような素敵な花かんむりを作った記憶があるのではないのでしょうか。



(投稿者 市内在住T.Nさん)

乳がん検診について

また今年も亀岡市の乳癌検診が6月から始まります。日本では年間に約4万5千人が新たに乳癌に罹患します。また約1万2千人が乳癌で死亡されます。女性の癌種別罹患率では乳癌が第1位ですが、死亡率では第5位になります。つまり乳癌はありふれた癌だが比較的治療しやすい癌ということがいえます。それだけに検診による早期発見の有効性が望める癌と思われます。

欧米では検診受診率が80%近いのですが、日本では受診率は平均18%ほどです。亀岡市は一昨年のデータで10.4%とさらに低率です。亀岡市の乳癌検診全

体の約60%は当院で施行しております。検診の精度を測る指標としては要精検率、陽性反応的中率がありますが、亀岡市の場合それぞれ6.5%、7.1%と全国平均及び京都府下平均を上回っております。対象となる方は是非受けてください。申し込み方法は医療機関ごとに異なりますので、わからない方は当院や保健センターにお電話でお問い合わせください。



診療部長兼外科主任部長 田中 宏樹

病院職員紹介



薬剤科
薬剤師
吉見 和

最近少し遠出をして、ご当地グルメを食べたり郷土の珍味を求めることを楽しみにしています。以前、岐阜県郡上八幡に住んでいた時に「鶏ちゃん」や「みたたき」「母袋燻り豆腐」といったご当地の特産品を食べ、今までに食べたことのないおいしさに感動し、郷土にあった料理や珍味があることに興味を持つようになりました。

最近見つけた驚きの珍味は、

「ふぐの子」というふぐの卵巣の糠漬です。ふぐの卵巣には猛毒があり食べられません。もちろん販売することもできません。しかし、石川県では糠につけ数年もかけて毒をとり、許可の得られた卵巣を郷土の珍味として販売しています。酒のつまみ・お茶漬けにとても合う食材でした。

私はドライブが好きで、今まで雑誌でおいしいものを見つけてはすぐに車で出向き、興味本位で色々食べまわっていました。しかし、最近は目的地近くまで電車やバスで出かけ、最寄の駅からは歩いて出かけるようにしています。その地を歩きながらご当地グルメを発見して食べるのはまた感動的です。そして、帰りは食後の運動になりますね。

地域連携医のご紹介

当院では、地域の医療機関と連携して、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み、地域医療の向上に貢献することを病院の基本理念として、患者さま中心の医療を展開しています。

そこで、本院と関係の深い、地域の連携医療機関を順次紹介させていただきます。

ヨネハラ消化器科内科医院

院長:米原 亨

住所: 亀岡市三宅町107-3

TEL: 25-5285

標榜科目: 消化器科、内科

診療時間: 午前9:00~12:00、午後5:00~8:00

火・土曜日の午後および木曜、日祝日休診

院長より一言



国道9号線頼塚交差点からクニッテル通りをJR亀岡駅方面に進んだ三宅町で消化器科を標榜して診療しています。

当院が診療をはじめた10数年前、亀岡の診療所で内視鏡検査ができるのは見晴の加藤先生の医院だけでした。市立病院もまだない頃で、亀岡市民の皆さんが気軽に内視鏡検査を受けられる医療環境ではありませんでした。おなかの症状で受診された患者さんに「胃カメラで調べましょう」と勧めると、ちょっと引かれてしまうことがよくありました。「病院に行かなくてもここで今から検査が出来ます」と言って、できるだけ当日か2~3日のうちに胃カメラを受けてもらえるように、毎朝一番に内視鏡検査を続けてきました。さらに午前診の途中でほかの患者さんに待ってもらって検査を始めたり、午後診の終わりに仕事帰りの患者さんに胃カメラを受けてもらったりもしました。また過去に内視鏡検査を受けて嘔吐反射でつらい思いをしたという患者さんには「しんどくないようにします」と約束して検査を受けてもらったり、内視鏡検査を初めて受けた患者さんが「胃カメラは苦しかった」という印象をもたないように内視鏡の食道への挿入と操作をできるだけいねいすることを心掛けて検査を行ってきました。

その後市立病院が開院し、さらに消化器科を標榜して内視鏡検査を行なう診療所も数か所以上に増えて、いまでは患者さんが亀岡のどこでも簡単に内視鏡検査を受けられるようになってきました。

それにより私の内視鏡医としての役目も徐々に軽くなり、最近是一般内科医としての診療の比重が大きくなっています。病院勤務の頃よりも患者さんとの距離感を近くして、訴えに十分耳を傾けることに努めています。そのため待ち時間が長くなってしまうことが多々あります。これが良くも悪くも当院の診療の特徴です。

今後も微力ながら、亀岡市民のおなかを良くしていきたいと思っています。

山川医院

院長:山川 昭子

住所: 亀岡市北古世町1丁目21-11

TEL: 25-0777

標榜科目: 内科、小児科

診療時間: 午前9:00~12:00、午後5:30~7:00

水・木曜日の午後および土、日祝日休診

院長より一言



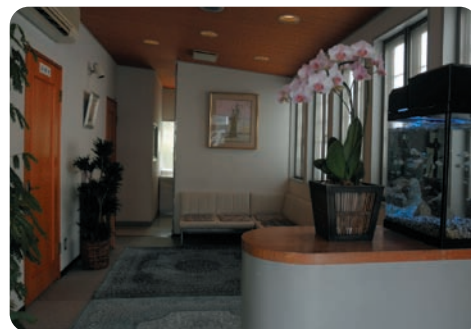
平成元年10月に内科、小児科で開業して早いもので24年目になりました。この間、多くの患者さんと出会い、対話を重視して日々の診療に努めてきました。又、患者さんの家族の方達とのかかわりも大事だと常々思っております。

開院当初は、明治生まれの方も多々おられました。今は大正、昭和、平成と患者さんも移り変わり時代の流れを感じています。核家族化で高齢老人世帯や独居老人が多くなり、通院一つ考えても高齢者にかかる負担は大きいものがあります。

以前は、検査、入院紹介を京都方面の病院にお願いする事が多く、患者さん、特に高齢者の方には負担が大きかったと思いますが、亀岡市立病院が開院されてからは、お世話になる事が多くなり、近くという事でその負担も軽減され、喜ばれています。

又、緊急時の入院等でも無理をお願いしていますし、検査結果、退院時の返事も早く報告してもらえて、安心して紹介させて頂いています。

これからも、病診連携を密にして患者さんに安心して頂ける診療をして行きたいと思っています。



編集後記

4月中、多くの命が奪われる自動車事故が多発し、先日も警察の方が交通安全に関する啓発の紙を配っておられました。車で通勤途中の私もその紙をいただきました。「事故が起ってから気をつける」では恥ずかしいのですが、ごく身近で事故が起こり、命が奪われる悲しみを痛感した今、車の怖さを今後も忘れることなくハンドルをにぎろうと思います。

また、私にも小学校と保育園に通う子どもがあり、通学路での事故を聞いた時には、涙をなんとかおさえて仕事をしました。多くの病院スタッフがそうであったと思います。新しい高速道路の工事はよく見ますが、通学路のための道路工事はあまり見る感じがありません。1つでも多くの通学路が安全に整備され、1人でも多くの命が守られることを心より願っております。

広報委員会委員 吉良 智明(臨床検査技師)

編集委員からのお知らせ

本誌『桔梗』の表紙や挿絵に掲載させて頂く写真やイラストを募集させていただきます。
テーマの規定はありません。みなさまより多数のご応募を心よりお待ちしております。
採用、不採用に関わらず、写真やイラスト、画像データ等のご返却できませんのであらかじめご了承下さい。詳細につきましては、下記担当者までお問い合わせをお願い申し上げます。

【担当者】亀岡市立病院 病院総務課 岡田(平日、午前10時から午後3時まで)



JR馬堀駅から徒歩約5分/京都縦貫道篠インターから車で約5分/駐車(輪)場有

亀岡市立病院

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田 1-1
TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312
<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/access/index.html>

「がんばろう日本」～亀岡市は東日本の復興を支援します～